

# 庄原市行政評価シート

平成 29 年度評価

<b>事務事業名</b>	備北観光ネットワーク協議会負担金				
<b>実施期間</b>	平成 20 年度 ~ 平成	年度	(終期の設定のない場合は、終期を空白)	<b>所管課</b>	商工観光課

<b>予算科目</b>	会計	01 一般会計	款	07 商工費	項	01 商工費
	目	03 観光交流費	事業	4201 観光交流事業		

<b>対象者</b>	備北観光ネットワーク協議会	<b>対象者数など</b>	1団体
<b>根拠法令・計画等</b>			
<b>HPアドレス</b>	<a href="http://www.bihokutabi.net">www.bihokutabi.net</a>		

<b>実施目的</b>	備北エリアの豊かな観光資源を活かし、観光客を備北エリア内の各施設や地域を移動、循環させる仕掛けを考え、広域的な観光推進を図る。
<b>事務事業の概要</b>	<p>(協議会の概要)          備北観光ネットワーク協議会は、広島経済同友会備北支部の提案で平成21年に設立。庄原市、三次市、両市の観光協会、広島経済同友会備北支部で構成し、現在の会長は三次市長。事務員を2名雇用(うち1名はパートタイム雇用)し、事務局を中心に、以下の事業を実施している。</p> <p>(事業概要)          1. 観光情報誌の発行          ・年2回、年間4万部発行          2. イベント事業「備北グルメまつり」「備北酔いところ祭り」          ・毎年、三次または庄原で年1回開催          3. びほくコードモトフィールド事業          ・子育てファミリー層を対象に、自然体験型の教育的付加価値の高いプログラムを提供し、観光誘客を図る。          4. 広域観光PR事業          ・観光キャラバン、モニターツアーの実施。          5. 観光ガイド交流会          ・備北地域の観光ボランティアのスキルアップを図る。</p>

年度別実績概要	
平成 26 年度	<input type="checkbox"/> 観光情報誌の発行 <input type="checkbox"/> イベント事業 <input type="checkbox"/> びほくコードモトフィールド事業 等
平成 27 年度	<input type="checkbox"/> 観光情報誌の発行 <input type="checkbox"/> イベント事業 <input type="checkbox"/> びほくコードモトフィールド事業 等
平成 28 年度	<input type="checkbox"/> 観光情報誌の発行 <input type="checkbox"/> イベント事業 <input type="checkbox"/> びほくコードモトフィールド事業 等

## 実績指標

(単位:千円)

事業費 (インプット)	項目	内容	H 26	H 27	H 28	合計
	事業費	負担金	備北観光ネットワーク協議会への負担金	4,513	5,418	5,400
						0
						0
		事業費計	4,513	5,418	5,400	15,331
財源	国県補助金		200	500	500	1,200
	地方債					0
	その他					0
	一般財源		4,313	4,918	4,900	14,131

		指標名称	単位	基準値	H 26	H 27	H 28	合計
<b>実績</b> (アウトプット)	1	観光情報誌の発行回数	回		2	3	2	7
	2	イベント	回		1	1	1	3
	3							0
<b>成果</b> (アウトカム)	1	観光情報誌の発行部数	部		70,000	73,000	50,000	193,000
	2	イベント来場者数	人		19,670	14,000	5,000	38,670
	3							0
<b>備考</b>								

事務事業名	備北観光ネットワーク協議会負担金	所管課	商工観光課
-------	------------------	-----	-------

評価項目		所管課評価	市民意見	評価委員会	評価分布	
分布は、A+1,B:0,C-1で総回答数で割り、小数点以下四捨五入。ただし、A-C又はC-AがBより多い場合はA\Cに補正する					市民意見	評価委員会
<b>優先度</b>		<b>A</b>			分布	平均
A	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。					
B	同じ分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。					
C	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。				#DIV/0!	#DIV/0!
<b>認知度</b>		<b>B</b>			分布	平均
A	対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。					
B	対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。					
C	一部の者を除き、事業があることすら知られていない。				#DIV/0!	#DIV/0!
<b>有効性</b>		<b>C</b>			分布	平均
A	費用に対して、効果・成果が高い事業である。					
B	費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。					
C	費用に対して、効果・成果が低い事業である。				#DIV/0!	#DIV/0!
<b>受益者満足度</b>		<b>C</b>			分布	平均
A	受益者(対象者)は、満足している事業内容である。					
B	どちらともいえない。					
C	受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望がある ほか。)				#DIV/0!	#DIV/0!
<b>市民(納税者)納得度</b>		<b>C</b>			分布	平均
A	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。					
B	どちらともいえない。					
C	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。				#DIV/0!	#DIV/0!
<b>代替性</b>		<b>B</b>			分布	平均
A	収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。					
B	民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。					
C	市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。				#DIV/0!	#DIV/0!
<b>まちづくり基本条例適合性</b>		<b>B</b>			分布	平均
A	市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。					
B	市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。					
C	条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。				#DIV/0!	#DIV/0!
<b>所管課評価</b>		<b>事業見直し</b>				
評価視点	両市がそれぞれ取り組むより、備北観光ネットワーク協議会として取り組むほうが効果的で効率的な事業に特化するなど、既存の事業の見直しを行うとともに、人件費抑制など運営形態を改善することについて意見を求める。					
所管課が課題と考える内容	両市の負担金、約1,000万円のうち、半分は人件費に充当されており、事業費に充てる費用が少ない。 また、既存イベントは、両市で交互に開催するにとどまっており、協議会の目的である、広域周遊観光の視点に立った事業に改善する必要がある。					